

企画展「文化財案内板でめぐる宮代町」関係史料集

壱町九反八畝廿七歩

年年どぶ二引

● 天和二年（1682） 須賀村年貢割付状（戸田家文書No.50）

戌歳免定

七拾五文

壱畝拾歩

丑より畑成

高三百石

須賀村

五斗四升

七畝拾七歩

当見捨

田畑屋鋪共

残式反式畝七歩

此取

此石壱石式斗四勺式才

一上田式町壱反七畝式歩

百拾式文

一上畑拾壱町三反歩

此永拾式貫六百五拾六文

内

丑より畑成

百拾式文

三反七畝拾七歩

此永四百廿文

一中畑拾四町六反廿七歩

井堀二引

当見捨

壱反五畝三歩

一中田壱町式反七畝歩

内

八拾七文

九畝歩

丑より畑成

此永七拾八文

七拾五文

六畝廿九歩

当見捨

一下畑拾九町三反八畝拾式歩

此永拾四貫五百廿八文

六斗壱升

残壱町壱反壱畝壱歩

此石六石七斗七升式合八勺三才

一下田式町三反壱歩

内

百卅八文

一屋敷壱町七反式畝拾五歩

此永式貫三百八拾文

一下田壱反拾六歩

新田

内

四十五文

六畝七歩

此永廿八文

丑より畑二成

四斗五升

残四畝九歩

此米壹斗九升二合貳勺

四拾五文

一下畑八反七畝廿七歩

新畑

此永三百九拾五文

十五文

一下畑壹反六畝歩

高野島原

此永廿四文

一下畑壹町

丑ニ改新畑

此永百文

石合拾八石八斗五升壹合

此俵五拾三俵三斗五升五合

内三俵九升五合

酉ニ上ル

永合四拾三貫鑊貳百廿壹文

此金四拾三両鑊八百六拾九文

内三分鑊七百六拾九文 酉ニ上ル

右之口合

壹両壹分鑊百八拾四文

右之通 霜月晦日切急度可致皆済者也、

天和二年戌十月

塚原寛左衛門^印

菅原定右衛門^印

青井七右衛門^印

安左衛門

八郎兵衛

一郎右衛門

惣百姓

●貞享元年（1684） 観音寺青井氏墓石

（正面）

貞享元歳

心源宗清信士

甲子九月廿五日

青井氏

●延享二年（1745） 大落堀南筋不用堀一札（岩崎家文書No.2650）

取替申一札之事

一絵図面之通り去ル亥春中御手伝御普請二付

本郷村与拙者中島村組合七拾六ヶ村川幅

論および 石原半右衛門様吟味罷成候□

取扱を以本川式拾五間壹筋二罷成南壹筋不用

相極則濟口証文差上申候右二付拙者共永々江戸詰

雑用之替二村々より両村江不用堀引渡可仕与申之

右割合左二印

不用堀長百六拾間

長八拾間 川上中嶋村

内

同八拾間 川下東村

姫宮堀内長百四拾間

七拾間 川上中嶋村

内

七拾間 川下東村

右之通り此度姫宮堀組合悪水落之勝手ニ罷成候□

切仕候ニ付右捨堀芦真菰地内割合相極ル上者□

御新田ニ罷成候共書面之割合を以永々所持仕可候為□

依而如件

武州埼玉郡百間東村

名主

延享貳丑年二月

次左衛門

東条原村

名主立会

利三郎

中嶋村

名主

新五左衛門殿

(絵図)

●明和五年(1768) 石橋供養塔

(正面)

明和四丁亥年 武州埼玉郡百間領

奉建立石橋供養塔

十一月吉日 願主

(左面)

百間村組中

須賀村

大田新井村

西原村組中

同新田

岡泉村

勤化村

西村組中

久米原村

鹿室村

東村組中

爪田谷村

御林

中嶋村組中

下野田村

江ヶ崎

蓮谷村

上野田村

実ヶ谷村

(右面)

千駄野村

上野村

梅田村

黒浜村

裏慈恩寺村

杉戸町

小久喜村

慈恩寺村

清地村

新宿村

笹山村

中妻村

白岡村

小溝村

三本木村

古ヶ場村

徳力村

倉松村

●寛政四年(1792) 蓮谷稻荷神社馬頭観音

(正面)

寛政四年人壬子年十月吉日

(馬頭観音浮彫立像)

武州埼玉郡百間領蓮谷村中

●文化十年(1813) 西光院二十二世尊明墓石

(正面)

文化十癸

傳燈大阿闍梨法印尊明

十月十一日

(右面)

寺再建 寛政十二庚申十二月

神君御宮再建 文化四卯春

灌頂多共修行 文化五辰三月

(左面)

現在

施主 真空

尊明弟子

尊寂

●安政四年(1857) 午高入百間西原村新田年貢減免願(新井家文書No.2090)

乍恐以書付奉願上候

当御支配所武州埼玉郡午高入百間西原村

新田名主組頭百姓代一同奉申上候当御新田之儀者

御定免場ニ御座候得共当田方之儀者植付後より

度々大雨ニ而稻竹水応ニ相成居水腐仕候間

御定免年季中所御檢見奉願上候者奉恐入

候得共無抛前書之通ニ付当壺ヶ年

御檢見入奉願上候間何卒格別之以

御慈悲御檢見入被下成置度奉願上候

右願之通り 仰付被下候ハ一同相助幾重

ニも難有仕合ニ奉存候以上

武州埼玉郡

午高入百間西原村新田

百姓代

七郎右衛門

組頭

源次郎

名主

四郎左衛門

●明治七年(1874) 午高入百間西原村新田年貢割付状(百間西原組關係文書No.16)

(端裏書)

「武州埼玉郡

百間西原村新田」

卯御年貢割付之事

檢見永

一高七高三斗七升九合

此反別壺町七石八畝廿壺歩

此訳

田高壺石五斗八升八合

此反別三反三畝六歩

此取米壺石四斗一升四合

檢見

去寅皆増

内訳

高壺石三斗

下々田式反六畝歩

五

高式斗四升八合

見付田七畝六歩

畑高五石七斗九升壹合

此反別壹町四反五畝拾五歩

此取永七百文三分

去寅同

内訳

高壹石七斗七升五合

下畑三反壹畝拾歩

反永四拾五文三分

高式石壹斗四升

下ノ下畑五反三畝歩

反永同断

高壹石六斗壹升七合

見付畑五反壹畝廿七歩

反永同断

高四斗七升九合

屋敷三畝三歩

反永同断

外

一米四合

一米壹升五合

一永拾八文四分

一真菰地六畝九歩

納合

米壹石四斗三升三合

永七百拾八文七分

右者当卯御永箇書面之通相極条

村中大小之百姓入作之もの迄不殘立会

無甲乙割合之来極一月十日限急度可令

皆済もの也

慶応三卯年十月 小笠原甫三郎印

右村

名主

組頭

惣百姓

●明治七年（1874） 神社上地敷地図（百間西原組関係文書No.82）

第六区

武蔵国埼玉郡

百間村西原組

伍長

神田武兵衛印

保長

矢嶋吉郎兵衛印

副戸長

新井四郎左衛門印

姫宮社引裂上地

（絵図）

明治七年第三月

第六区

武蔵国埼玉郡

百間村西原組

伍長

神田武兵衛^印

保長

矢嶋吉郎兵衛^印

副戸長

新井四郎左衛門^印

地藏院廢跡上地

(繪図)

明治七年第三月

第六区

武蔵国埼玉郡

百間村西原組

伍長

神田武兵衛

保長

矢嶋吉郎兵衛

副戸長

新井四郎左衛門

正福坊廢跡上地

(繪図)

明治七年第三月

●明治七年（1874） 社寺上地松下願（百間西原組關係文書No.135）

社地上地御松下願

第六区埼玉郡

百間村西原組

姫宮社引裂上地

今般改書毫畝歩

一見面式畝歩

右当村農野口紋治郎儀旧神主三而右地住居

罷在候二付今般宅地二御松下二被成下度奉願上候以上

明治七年三月

右村

農

野口紋治郎^印

保長

埼玉県權令白根多助殿

廢寺地藏院上地並建物御松下願

第六区

埼玉郡

百間村西原組

一堂敷地之内壹畝歩

一建物壹ヶ所

右地藏院廢寺二相成墓守寮無之候而之處且墓所モ手狭ニ御座候間書面之通り敷地建物之御松下奉願建物之儀者取毀テ墓守寮ニ取建候様支度此段

奉願上候以上

地藏院廢跡

明治七年第三月 墓持惣代

伍長

神田武兵衛

保長

矢嶋吉郎兵衛

副戸長

新井四郎左衛門

埼玉県権令白根多助殿

●明治八年（1875） 浅間・稻荷・東照社修禊寄進帳（須賀渡辺家文書No.144）

（表紙）

「明治八年九月廿六日 上耕地

仙元

稻荷修禊二付大豆寄進連名帳

東照

集方

小林仙之丞

渡辺喜造」

記

一大豆壺斗 渡辺惣七

取

一同 貳升 間宮太平次

取

一同 八升 渡辺重右衛門

代三貫七百貳文

一同 八升 間宮重五郎

代 取

一同 六升 渡辺藤吉

取

一同 七升 小林仙之丞

取

一同 七升 柳勇輔

取

一同 六升 藤城兵左衛門

取

一同 七升 石橋喜惣次

代三貫貳百五十五文

一同 七升 遠藤清助

代貳貫二百貳十五文取

一同 四升 戸田惣八

代

取

一同 四升 遠藤要助

代壹貫四文

一同 三升 渡辺長三郎

同九百三十文

一同 貳升 石塚仙二郎

内壺升代 四百六十五文

同九百三十文

一同 貳升 遠藤徳助

一同 貳升 渡辺常吉

代五百三十文

一同 貳升 斉藤要吉

代十錢取

代九百三文取

一同 貳升 渡辺喜蔵

代

代壹貫四百文

一同 貳升 渋谷条次郎

取

一同 貳升 渋谷新宅

一 壹石五升也

十五日

十六貫五百拾五文 清助様より

受取

一三貫貳百五拾五文 同人より

受取

一 壹貫四百文 条次郎より

同人より受取

一 壹貫三百廿五文 仙之丞様より

受取

記

一 糯米貳升 渡辺惣七

一同 壹升五合 間宮太平次

一同 壹升五合 同重五郎

一同 壹升 小林仙之丞

一同 壹升 遠藤清助

一同 壹升 柳勇助

一同 壹升 石橋喜惣次

一 白米五合 福沢友七

一同 壹升 渡辺藤吉

一 糯米壹升五合

同重右衛門

●明治八年（1875） 寺持有税墓居置願（須賀渡辺家文書No.2936）

寺持有税墓居置願

字金剛寺

第六区

八番

埼玉郡百間須賀村

上畑六畝四歩ノ内

六十七番屋敷

一 上畑壹畝拾歩

金剛寺持

右寺住職易川宗園奉申上候今般永久墓地

設定之御布告奉拝承然ル処前書有税地

拙寺從來之墓所有之右者担中二名程是

迄埋葬仕候義之候処何分境内手狭ニ而引移候

地所無之殊当惑罷在候間何卒書面墓所

之義從來之通居置奉願度別紙図面相添

此段奉願上候以上

右

明治八年第三月 金剛寺住職

〔易川宗園印〕

戸長不在ニ付代

副戸長 渡辺重右衛門印

同 渡辺惣七印

埼玉県権令白根多助殿

私有地墓居置願

字権現台

第六区

三番地

埼玉郡百間須賀村

中畑貳拾五歩

百番屋敷

平民

祠掌

加藤福泰

右加藤福泰奉申上候今般永久墓地設定之御布告奉拝承然ル処前書有税地ニ先般墓所設定有之神葬祭ニ付何卒從來之場所へ墓地居置被仰付度別紙図面相添此段奉願上候以上

明治八年三月十七日

加藤福泰

戸長不在ニ付代

副戸長

渡辺重右衛門

同

渡辺惣七

埼玉県権令白根多助殿

記

第六区百間須賀村

一堂

沓ヶ所

七十六番地真藏院

但

境内薬師堂

同

一庵

三ヶ所

七十六番地之内薬師坊

但百三十七番地抱玉庵

五番地安養庵福本善瀬借居罷在候

右取調奉書上候通相違無御座候以上

第六区百間須賀村

戸長不在ニ付代

副戸長

渡辺重右衛門

同

渡辺惣七

埼玉県権令白根多助殿

墓所取調書上

第六区

埼玉郡百間須賀村

字深生戸

五十沓番地 但無税地

一反別沓反九畝拾八歩

同所

同地同断

一同式畝拾八歩

同所

同地同断

一同式畝五歩

字鹿沼

百九番地

一同拾五歩

字砂河原

七番地

一同三畝歩

字金剛寺

真藏院持境内

同持境内

同持境内

長福寺持境内

同持境内

十六番地 同

一同式畝歩 金剛寺持境内

字同所

同地同断

一同式拾歩

前書墓所取調書別紙図面相添奉

差上候通相違無御座候以上

右村

明治八年三月十七日 戸長

中村牧太郎

戸長不在二付代

副戸長

渡辺重右衛門

同

渡辺惣七^印

埼玉県権令白根多助殿

●大正八年（1919）停車場新道開通式費用帳（和戸谷沢家No.文書87）

（表紙）

「大正八年七月式拾七日挙式

停車場

開通式費用帳

新道

和戸停車場創立委員会

記

一金参百円也

東武鉄道株式会社

新道補助及土代

一金百拾九円八拾貳銭

井上氏江預ヶ金

四拾壹延

一金参拾六円七拾六銭5厘

停車場寄付金ノ残額ヲ操入

祝金ノ部

一金五円也 井上精一郎殿

一金五拾銭 野沢庄吉殿

一金五拾銭 大塚甚左衛門殿

一金貳円也 渋谷熊蔵殿

一金五拾銭 中原新平殿

一金六円五拾銭 高野有志諸殿

日下部松之助 藤田貞右衛門 稲原源蔵 折原実

折原喜左衛門 藤城長六 間宮佐五平 青柳徳三郎

平井惣八 中里義蔵 小島元三郎 鈴木常吉

石井定市 以上拾参名

一金貳円也 幸手市商工会

一金五円也 野口秀殿

一金参円也 日下部泰助殿

合計金四百八拾壹円五拾八銭五厘

祝

ビール四打ス 壱箱 東武鉄道会社

但シ当日使用済

支払金

一金百四拾六円也 折諸百貳拾参人分

一金拾円四拾五銭 酒小半樽外一舛

一金参円八拾銭 寿し拾九人分

一金貳拾錢

氷水代

一金貳拾五円也

煙火五拾壺本

一金貳円也

工夫茶果料

一金七拾五錢

半紙貳拾帖

一金四拾四錢

半紙及封筒代

一金拾円八拾錢

祝盆百五十個代

一金四拾錢

電報料

一金壺円也

役場小使心附

一金四拾円也

余興費

一金壺円也

若者

豆腐代

一金參円六拾七錢

協議費

一金拾円也

榎朶交渉費

計金貳百六拾円五拾壺錢

收入金四百八拾壺円五拾八錢五厘

支出金貳百五拾五円五拾壺錢

差引金貳百參拾壺円七錢五厘

残

内金四円也

岡村新作借地料ノ

耕起料仕払

総

差引残金貳百貳拾七円七錢五リ

大正八年七月三拾日役場へ預金ス

内拾円 小島為次郎借地料未払分

大正八年八月貳拾七日出払ス

差引残金貳百拾七円七錢五厘 大正八年八月貳拾七日

訂正ス